消防団長就任あいさつ

令和 7 年 4 月 1 日付にて、富田林市消防団第八代消防団長に就任しました浅野貞夫と申します。
消防団長の職責の重さを考えますと、まさに身が引き締まる思いしかございません。もとより微力ではありますが、地域の安寧を守るため、専心精励努力していく覚悟でございます。

市民の皆様におかれましては、日頃からご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
私たち富田林市消防団は、大正 2 年に結成した富田林町の消防組を礎に、喜志村、新堂村、川西村、錦織村、彼方村、大伴村との町村合併や警防団への名称変更等を経て昭和 25 年の市制施行により消防団組織となりました。
現在、1 団本部14個分団、定数350名で「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき活動を行っています。

日々の活動は火災のみならず、地震や台風などの風水害といった自然災害発生時には管轄区域の巡回や倒木などの処理、住民の避難誘導などの任務に就き、平時は各種訓練の他、地域防災力の向上に向けた地域住民や自主防災組織に対する技術指導を行うなど重要な役割を果たしているものと自負しています。

しかしながら、近年の社会、経済情勢の変化により、消防団員数の減少や被雇用化など消防団も様々な課題に直面しており、時代と共に大きな変革の時期を迎えています。しかしながら、時代が変わろうとも消防団の任務、目的は変わることは無く、今後起こりうる大規模災害に備え、団員相互が連携し、協調性を高めて地域防災力の要として地域住民や自主防災組織の皆様と「自助・共助」における信頼関係を築いていくことが極めて重要と考えております。

これからも、市民の安心・安全のために、より一層組織の充実強化を図り、郷土愛を軸とし自己研鑽を重ねて行く所存であります。今後とも皆様のご支援・ご協力を心からお願いいたします。